

トヨタ紡織、「CES2020」に出展

～ 新価値を提供する未来の車室空間を提案 ～

トヨタ紡織株式会社(本社:愛知県刈谷市、取締役社長:沼 毅)は、2020年1月7日(火)から1月10日(金)に、米国ネバダ州ラスベガス市で開催される「CES2020^{※1}」に昨年に引き続き出展します。

CASE や MaaS の進化のスピードが加速し、自動車に対するお客様ニーズが大きく変化する中、トヨタ紡織は、空間の新価値創造を主導する「インテリア スペース クリエイター」を目指しています。今回の CES では、未来の自動運転を想定した2つの車室空間を提案し、ニーズに応じた多彩なシートアレンジや、乗員の状態を感知して空間を制御する技術を紹介します。

1. 展示品

1) 近未来モデル MX191^{※2} (Mobility eXperience)

「もっと心地よく、もっと安心して、もっと好きなことを」をテーマに、安全・環境をベースに「快適」を追求し、「空間を見守り、人を見守る」上質な時空間を提案します。自動運転レベル3～4を想定し、状況に応じて空調や光、音、香り、映像により人の五感を刺激する6つの先進システムを搭載し、新たな価値を提供します。



【6つの先進システム】

- ① お出迎えシステム
- ② 快適誘導システム
- ③ 眠気抑制システム
- ④ 見守りシートアレンジシステム
- ⑤ 多彩な時空間活用
- ⑥ 乗員保護安全システム

2) MaaS 空間モデル MOOX (MOBILE bOX)

ビジネスやエンターテインメントなど様々なサービスで空間活用されることを想定した MaaS 空間を提案します。昨年の CES に出展した MOOX を進化させ、用途に応じてシートや内装アイテムを脱着交換して、ユーザーのニーズに合わせて空間をみつらえることができるテイラードスペースシステムを搭載しています。また、乗員の行動や感情を推定し、五感を刺激して状態を誘導するマルチモーダル制御システムで、新たな体験を提供します。



そのほか、独自の微細繊維技術と精密プレス加工技術を用いて、高い出力特性と信頼性を実現したリチウムイオン電池も展示します。

2. 出展場所

Tech East、Westgate ブース番号 1801



トヨタ紡織は、世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社として、“QUALITY OF TIME AND SPACE” -すべてのモビリティに、より上質な時間や空間を提供していきます。

CES 出展に関する特設サイト <https://www.toyota-boshoku.com/jp/special/ces2020/>

※1：Consumer Electronics Show：全米民生技術協会が主催する電子機器の国際見本市

※2：MX191 は、アイシン精機株式会社、株式会社デンソー、豊田合成株式会社、株式会社東海理化と連携し、先進技術を搭載

以上